

# 政策シート

(政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

## ◇政策の概要

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、「浜松版グリーンレジリエンス」として、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大する。

## ◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源
-----	-------	--------	----------	-----	--------	-------	-------

## ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算		840,994	943,895	949,872	1,071,260
決算		786,616	802,770	826,178	
人件費(A)		57,400	64,420	61,600	56,420
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)		844,016	867,190	887,778	1,127,680

## ◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
年間木材生産量	m <sup>3</sup>	181,200	目標	112,800	120400	128000	136000	143200
			実績	116933	128693	126167	118444	
森林経営計画 累計認定面積	ha	24,400	目標	13,600	14800	16000	17200	18400
			実績	14973	19099	16516	18354	
林業行政を総合的に推進する組織の設置	設置(H30)		目標					
			実績	設置に向けた検討 達成(27年7月)	-	-	-	-

## ◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

林業・木材産業の成長産業化に向け、低コスト林業の推進や2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連施設への天竜材供給をはじめとした木材の地産地消並びに地産外商を推進した。

## ◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

平成30年度の木材生産量は、台風の直撃を受けるなど災害が多く発生し、現場へのアクセス道が不通になるなどの理由により減少した。そういった状況の中、天竜材の流通量や利用拡大のために天竜材の地産地消、地産外商を推進する各事業を積極的に実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	林業従事者助成事業(補助金)	○	○			10,150	8,750	0.2				
2	林道等整備事業					582,394	562,094	2.9				
3	低コスト林業推進事業	○	○			105,578	99,578	0.6	0.5			
4	木材需要拡大事業	○	○	○		301,836	277,316	3.4	0.2			
5	林業成長産業化推進事業	○	○			79,389	77,289	0.3				
6	森林環境基金積立金					35,597	34,897	0.1				
7	森林管理運営経費					12,736	11,336	0.2				
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,127,680	1,071,260	7.7	0.7			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 林業従事者助成事業(補助金)

### ◇事業目的・事業対象

林業従事者の育成・確保を目的に、林業従事者が安心して作業ができる環境を整備する。

### ◇事業の概要

#### 林業技術者助成事業(補助金)

林業従事者の作業環境の整備と新規就業者の確保のため、認定事業体(or意欲と能力のある林業経営者)が負担する経費を支援する。

- 林業従事者安全装備品等支援事業
  - ・安全対策に必要な装備品等の購入に係る経費を支援  
(防護ズボン、チャプス、作業服、ヘルメット、チェーンソー等)
  - ・林業技術者振動障害対策支援、林業技術者技能習得研修等支援
- 新規就業者支援事業
  - ・新規就業者の給料等を支援(採用から3年間)

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	-	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算		11,889	8,750	8,750	8,750
	決算		6,215	8,188	7,022	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源		6,215	8,188	7,022	8,750
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)			2,800	1,400	1,400	1,400
人工	正規		0.4	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.2,8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.2		

#### ・事業とゴールの関連性

林業従事者が安心して作業ができる働きやすい環境を整えることで、林業従事者の雇用の確保・拡大につながる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
森林組合作業班員数(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	200	200	200	200	200	200	200
実績値	178	176	179	175			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
新規就業者支援件数(件)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	—	5	6	6	20	20	20
実績値	—	6	6	11			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
I-1(3)イ							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

林業技術者助成事業(補助金)

林業従事者の作業環境の整備と新規就業者の確保のため、認定事業体が負担する経費を支援する。

・林業従事者安全装備品等支援事業

安全対策に必要な装備品等の購入に係る経費を支援  
(防護ズボン、チャプス、作業服、ヘルメット、チェーンソー等)

・新規就業者支援事業

新規就業者の給料等を支援(採用から3年間)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

目標の作業班員数は確保できなかったが、認定事業体への支援を計画どおり実施した結果、林業従事者の労働環境の改善に繋げることができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

森林組合のみをしていた補助対象を、H30年度からは認定事業体に拡充して実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

「林業従事者安全装備品等支援事業」の補助対象を拡充し、講習会(安全教育や技能習得等)の参加費用や特殊健診(振動・蜂アレルギー)の受診費用も助成することで、更に、従事者が安全に作業ができる環境整備を進めて、林業従事者の定着に繋げていく。

## 事業シート (事業名) 林道等整備事業

### ◇事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮、山村地域の振興などを目的に、林内道路網の整備と維持管理を行う。

### ◇事業の概要

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。  
 ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等を行う。  
 ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。  
 ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等を行う。  
 ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等を行う。  
 ⑤林道維持補修事業／市内の林道(204路線 約700km)を維持管理する。  
 ⑥林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林業専用道を整備する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算		506,630	571,912	502,063	562,094
	決算		522,438	477,817	493,955	
	国・県支出		136,678	107,579	120,263	136,849
	市債		222,700	178,200	200,900	255,800
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金		163,060	192,038	172,792	169,445
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)			22,400	21,000	20,300	20,300
人工	正規		3.2	3.0	2.9	2.9
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

#### ・事業とゴールの関連性

林道等の整備を進めることで素材生産量の拡大につながるとともに、生産するために必要な林業従事者の雇用の創出につながる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
林内道路密度(m/ha) ※(公道延長+林道延長)÷民有林面積								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	23.6	23.8	24	24.2	24.4	25	25.4	
実績値	23.2	23.3	23.3	23.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行った。
- ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等  
【決算: 78,590千円(うち前年度繰越: 24,940千円)】
  - ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。
  - ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等  
【決算: 179,323千円(うち前年度繰越: 12,725千円)】
  - ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等
  - ⑤林道維持補修事業／市内の林道(204路線 約700km)を維持管理  
【決算: 152,658千円(うち前年度繰越: 33,308千円)】
  - ⑥林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林業専用道の整備  
【決算: 22,060千円(うち前年度繰越: 12,250千円)】

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

実績

- |                     |      |
|---------------------|------|
| ①公共林道整備事業(国庫補助)／    | 3路線  |
| ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／ | 4路線  |
| ③県単独林道整備事業／         | 16路線 |
| ④市単独林道整備事業／         | 2路線  |
| ⑤林道維持補修事業／          |      |
| ⑥林業専用道整備事業／         | 1路線  |

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

平成30年度は概ね順調に事業執行ができた、地権者との交渉等が難航した一部の路線で翌年度繰越になる路線が発生した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 林道・林業専用道の整備については、国及び県補助金を活用し計画的に事業を進めていく。
- ・ 市単独事業については、計画的に事業を進めていく。



## 事業シート (事業名) 低コスト林業推進事業

### ◇事業目的・事業対象

効率的な林業経営の推進を目的に、森林施業の集約化に不可欠な林内路網(作業道、作業路、索道)整備や素材生産コストの低減に向けた林業機械導入等を支援する。

### ◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.23】

#### ①林業機械・施設整備事業(補助金)

「林業・木材産業構造対策事業費補助金」や「中山間地域林業整備事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援する。

#### ②低コスト林業推進助成事業(補助金)

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	-	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算		80,002	64,799	79,110	99,578
	決算		49,982	93,996	68,459	
	国・県支出			36,101	18,500	49,578
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金		49,982	57,895	49,959	50,000
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)			3,500	5,620	6,300	6,000
人工	正規		0.5	0.7	0.9	0.6
	再任用(h31)			0.2		0.5
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

高性能林業機械導入や作業道開設などによる効率的な持続可能な林業経営を推進することで、気候変動や自然災害に対する強靱性を高める。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年間木材生産量(m³)					I-1(1)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	112,800	120,400	128,000	136,000	143,000	165,800	181,200
実績値	116,933	128,693	126,167	118,444			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
林業行政を総合的に推進する組織の設置					-	23	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	設置検討	-	-	設置			-
実績値	達成(27年7月)	-	-	-			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.23】

①林業機械・施設緊急整備事業(補助金)【決算:18,500千円(うち前年度繰越:7,400千円)】

「合板・製材生産性強化対策事業」及び「水土保全森林緊急間伐対策事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

①林業機械・施設緊急整備事業(補助金)

(株)明善フォレスト ウインチ付グラップル 1台、フォワーダ 1台 11,100千円

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

(作業道開設) 18路線 施工延長L=6,754m 補助金額 13,449千円

(作業道補修) 32路線 施工延長L=16,547m 補助金額 11,277千円

(作業路開設) 33路線 施工延長L=12,018m 補助金額 14,668千円

(索道) 58箇所 補助金額 8,122千円

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・低コスト林業補助金は概ね、計画どおりの事業量が整備できた。
- ・林業機械等整備事業は、国の動向等を見極めつつ事業を執行した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・低コスト林業推進事業(補助金)では、補助対象森林を、適切に管理された「FSC認証森林」に限定するよう見直した。

## 補助シート (事業名) 低コスト林業推進事業

### ◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4

### ◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置 高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等の支援(林業機械・施設緊急整備助成事業)	高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等の支援(林業機械・施設緊急整備助成事業)	高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等の支援(林業機械・施設緊急整備助成事業)	高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等の支援(林業機械・施設整備事業)

## 事業シート (事業名) 木材需要拡大事業

### ◇事業目的・事業対象

林業・木材産業の成長産業化を目的に天竜材(FSC認証材)の「地産地消」、「地産外商」を推進する。

### ◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.22・No.23】【R1-R4重点戦略項目 No.51・No.54】

- ①天竜材の家百年住居の助成事業／天竜材の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
- ③木質バイオマス利用促進助成事業／木質ペレットストーブの購入・設置費用等への支援を行う。
- ④森林整備・林業振興事業／林業事業者や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、主伐、搬出等)を支援する。
- ⑤天竜材流通・販路拡大事業／天竜材の流通量及び販路拡大に取組む事業を支援する。
- ⑥(新規)森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携。
- ⑦(新規)森林環境教育推進事業／森林・林業に対する理解増進、森林環境意識を醸成するため森林環境教育を実施。
- ⑧(新規)FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及のための事業を実施。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	○	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算		230,751	276,220	282,077	277,316
	決算		199,290	204,849	199,156	
	国・県支出		26,904	8,726	4,255	4,498
	市債					750
	その他			4,000	2,485	34,047
	一般財源		172,386	192,123	192,416	238,021
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)			28,000	32,900	29,400	24,520
人工	正規		4.0	4.7	4.2	3.4
	再任用(h31)					0.2
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1,11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2,12.7,12.8
④ 教育	○ 4.1,4.2	⑬ 気候変動	○ 13.3
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6,6b	⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.2,8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.2		

#### ・事業とゴールの関連性

適切かつ効率的な木材利用を進めるとともに、安心して質の高い教育・学習環境を提供することで、安全かつ強靱で持続可能な都市を実現する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No		
							H27~H30	R1~R4	
森林経営計画 累計認定面積									
							23		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6		
目標値	13,600	14,800	16,000	17,200	18,400	22,000	24,400		
実績値	14973	19099	16516	18354					
地域材利用建築件数(棟) ※天竜材の家百年住居の助成事業助成棟数									
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6		
目標値	280	280	250	250	250	250	250		
実績値	199	207	219	181					
FSC森林認証面積(ha)									
					I-1(1)エ		22		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6		
目標値	43,500	44,000	44,500	45,000	45,500	47,000	48,000		
実績値	43,553	44,404	45,131	45,270					
FSC認証材生産量(m³/年)									
							22		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6		
目標値	71,000	79,000	87,000	95,000	103,000	127,000	143,000		
実績値	68,911	80,143	75,976	R1.9月頃					
木材・木製品製造業 製造品出荷額(億円/年)									
					I-1(1)エ				
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6		
目標値	323	355	324	356	450	450	450		
実績値	229(26実績)177(H27実績)239(H28実績)				R1.9月頃				
連携数(都市・団体)									
							54		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6		
目標値					4	5	6		
実績値				3					

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

[H27-H30重点戦略項目 No.22・No.23]

- ①FSC認証材・CLT利活用推進事業(負担金) / 「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」に対し負担金を支出し、事務局として協議会を運営する。
- ②天竜材の家百年住居の助成事業 / 天竜材の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
- ③木質バイオマス利用促進助成事業 / 木質ペレットストーブの購入・設置費用等への支援を行う。
- ④森林整備・林業振興事業 / 森林組合や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。
- ⑤天竜材流通・販路拡大事業 / 天竜材の流通量及び販路拡大に取組む事業を支援する。
- ⑥(新規)天竜材めぐり空間創出事業 / 天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施工主に対し、材料費の一部を助成する。
- ⑦(新規)天竜材ユーザー開拓推進事業 / 新たな天竜材ユーザー開拓のため、最終消費者に対して3つのアプローチにより天竜材の価値を訴求する。
- ⑧(新規)日本の木材活用リレー推進事業 / 東京2020オリ・パラ競技大会選手村ビレッジプラザへの天竜材の供給。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」を運営した。30年度末参加事業者数:120社・団体
- ②天竜材の家百年住居の助成事業は、目標棟数を下回った。支援件数:181棟
- ③木質ペレットストーブの導入支援 支援件数:14基
- ④・森林整備地域活動支援交付金 / 森林経営計画策定に要する経費を支援
  - ・森林環境保全直接支援・美しい森林づくり基盤整備 / 間伐等、森林整備に要する経費を支援
  - ・合板・製材生産性強化対策事業(TPP対策) / 間伐に要する経費を支援
- ⑤・天竜材産地消推進事業 / 採択4社
  - ・天竜材製品開発支援事業 / 採択3社
  - ・天竜材海外輸出支援事業 / 台湾・ベトナムに向けてコンテナを輸出等
  - ・天竜材販路拡大事業 / セールスマーケティング開催(持続可能な調達に配慮している事業と本市木材流通事業者とのビジネスマッチング)
- ⑥天竜材めぐり空間創出事業は、目標支援件数を下回った。支援件数:5件
- ⑦・天竜材インプリンティング事業 / 冊子「ママは角材」制作
  - ・浜松ウッドコレクション2018実施 / 対象を全国に広げ、住宅、非常宅、木製品、木製家具の作品を募集
  - ・天竜材フィーリングツアー開催 / 一般市民を対象にツアーを開催

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・市民(最終消費者)に天竜材を選択してもらえるように、市民に対して天竜材の良さを直接訴求する事業を新設した。
- ・民間物件へ木材利用を拡大するために、木質化に対する支援事業を新設した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・木材利用にかかる事業者間の連携を強化するとともに、大都市との連携強化を推進することで、天竜材の流通量及び販路拡大につなげていく。
- ・市民や民間物件へ向けて、天竜材(FSC認証材)の利用を促進する。

## 補助シート (事業名) 木材需要拡大事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
51 54	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材流通・販路拡大事業 6 天竜材ぬくもり空間創出事業 7 天竜材ユーザー開拓推進事業 8 森林活用等都市間連携事業 9 森林環境教育推進事業 10 FSC認証材利用拡大推進事業	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材流通・販路拡大事業 6 天竜材ぬくもり空間創出事業 7 天竜材ユーザー開拓推進事業 8 森林活用等都市間連携事業 9 森林環境教育推進事業 10 FSC認証材利用拡大推進事業	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材流通・販路拡大事業 6 天竜材ぬくもり空間創出事業 7 天竜材ユーザー開拓推進事業 8 森林活用等都市間連携事業 9 森林環境教育推進事業 10 FSC認証材利用拡大推進事業	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材流通・販路拡大事業 6 天竜材ぬくもり空間創出事業 7 天竜材ユーザー開拓推進事業 8 森林活用等都市間連携事業 9 森林環境教育推進事業 10 FSC認証材利用拡大推進事業

◇【H27～H30】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
22 23	1 森林認証推進事業の実施 2 (仮称)FSCオリンピックフォーラムの開催 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材海外輸出検証	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材流通・販路拡大事業	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居る助成事業 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付 5 天竜材流通・販路拡大事業 6 天竜材ぬくもり空間創出事業 7 天竜材ユーザー開拓推進事業 8 日本の木材活用リレー推進事業



## 事業シート (事業名) 林業成長産業化推進事業

### ◇事業目的・事業対象

地域の「素材生産」、「製材・加工」、「木材流通」のキープレイヤーが一体となり、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげる。

### ◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.22】

浜松地域林業成長産業化地域構想への参画事業者が行う事業を支援する。

- ・参画者: 素材生産者、製材・加工事業者、流通業者、森林育成事業者等
- ・将来像: 「多様なFSC認証製品の流通拡大によるクリーンウッド社会の実現」
- ・目 標: 素材生産量1.5倍以上増加、製材品生産量1.3倍以上増加、製品販売量1.5倍以上増加、新規雇用者70人など(5年間累計)

- ・取 組: ①品質の高い原木の増産及び需要に応じた原木の安定供給  
②需要に応じた付加価値の高い天竜材製品の開発・生産  
③「地産地消」、「地産外商」の2方向による天竜材の流通・販路の拡大  
④需要に応じた川上から川下までの最適なサプライチェーンの強化・再構築  
⑤次代の林業・木材産業を担う人材の育成

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	-	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算			6,250	60,724	77,289
	決算			6,250	42,790	
	国・県支出			6,250	42,423	77,001
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金				367	288
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)				1,400	2,100	2,100
人工	正規			0.2	0.3	0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.2,8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.2		

### ・事業とゴールの関連性

素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげることは、持続可能な経済成長と産業化の促進及びイノベーションの推進を図るものである。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					I -1(1)ウ		H27~H30	R1~R4
年間木材生産量 (m³)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値		112,800	120,400	128,000	136,000	143,000	165,800	181,200
実績値		116,933	128,693	126,167	118,444			

  

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					22		H27~H30	R1~R4
FSC認証材生産量 (m²)	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値		71,000	79,000	87,000	95,000	103,000	127,000	143,000
実績値		68,911	80,143	75,976	R1.9月頃			

  

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値								
実績値								

  

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値								
実績値								

  

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.22】

構想5カ年の2年目となる平成30年度は、参画事業者が行う5件のソフト事業、3件のハード事業(うち1件繰越)を支援

○ソフト事業

・新たな造林品種の調査・研究(天竜森林組合)、ICT技術・IoTシステムの導入(引佐町森林組合)、天竜式乾燥システムの実証、提案型販売ツールの作成、先進地・生産地マーケティング調査(株鈴三材木店)

○ハード事業

・林業機械の導入(天竜森林組合)、木材処理加工施設の整備(株ヤマトウ製材所)、木材加工供給施設装置の整備(株マルホン)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

参画事業者が行う5件のソフト事業、3件のハード事業(うち1件繰越)を支援

○ソフト事業

・新たな造林品種の調査・研究(天竜森林組合)、ICT技術・IoTシステムの導入(引佐町森林組合)、天竜式乾燥システムの実証、提案型販売ツールの作成、先進地・生産地マーケティング調査(株鈴三材木店)

○ハード事業

・林業機械の導入(天竜森林組合)、木材処理加工施設の整備(株ヤマトウ製材所)、木材加工供給施設装置の整備(株マルホン)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・ 構想に掲げたH30年度分のソフト5件、ハード整備3件(うち1件繰越)の事業を支援した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・ 引き続き計画どおり進めることで、構想で掲げる目標値の達成を目指していく。

## 事業シート (事業名) 森林環境基金積立金

### ◇事業目的・事業対象

森林、河川等の自然環境を守り育て、森林の公益的機能を維持増進し、併せて林業の振興を図るため、平成18年4月に創設した「浜松市森林環境基金」への積立を適正に行う。

### ◇事業の概要

#### ○基金への積立

- ・市民や企業からの寄附金を基金に積立てる。
- ・基金の運用益を基金に積立てる。
- ・森林環境譲与税を基金に積み立てる。

#### ○基金の効果的な活用

- ・基金事業所管課と連携を図り、基金の効果的な活用を図る。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市森林環境基金に関する条例	—	—	—

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算			5,012	4,056	34,897
	決算			2,824	3,799	
	国・県支出					
	市債					
	その他			2,824	3,799	34,897
	一般財源					
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)				700	700	700
人工	正規			0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1,11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2,12.7,12.8
④ 教育	○ 4.1,4.2	⑬ 気候変動	○ 13.3
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6,6b	⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

基金は、森林、河川等の自然環境を守り育てるための事業、森林の有する公益的機能を維持増進するための事業及び林業の振興を図るための事業に要する経費に充てるため、さまざまな持続可能な開発目標とリンクしている。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 基金への積立
  - ・市民や企業からの寄附金を基金に積立てる。
  - ・基金の運用益を基金に積立てる。
- 基金の効果的な活用
  - ・基金事業所管課と連携を図り、基金の効果的な活用を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

森林環境基金への寄附金及び基金の運用収入を基金に積み立てることで、森林環境基金活用事業の財源として活用した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

近年の寄附額の実績に基づいた予算額に見直した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・引き続き林業振興課が所管となり事業を行う。
- ・平成31年度からの譲与開始が予定される森林環境譲与税について、森林整備や木材利用促進等に活用するほか、将来の事業量増加に備えて計画的に森林環境基金へ積立てを行う。

# 事業シート

(事業名) 森林管理運営経費

## ◇事業目的・事業対象

## ◇事業の概要

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算		11,722	10,952	13,092	11,336
	決算		8,691	8,846	10,997	
	国・県支出					
	市債					
	その他		1,302	2,562	1,156	755
一般財源			7,389	6,284	9,841	10,581
一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)			700	1,400	1,400	1,400
人工	正規		0.1	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

## ◇SDGsとの関連

### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

### ・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度



・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

# 政策シート

(政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業施設災害復旧費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

## ◇政策の概要

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

## ◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑨イノベーション	⑬気候変動	⑮陸上資源						
-------	----------	-------	-------	--	--	--	--	--	--

## ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	438,796	260,000	260,000	565,000	260,000
決算	334,256	196,004	167,494	311,421	
人件費(A)	700	2,800	2,100	2,100	2,100
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	334,956	198,804	169,594	313,521	262,100

## ◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
災害復旧工事の着工率	%	100	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	99	
			目標					
			実績					

## ◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

## ◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

平成30年度は、国庫補助災害は11路線(13箇所)、単独災害は135路線(281箇所)と非常に多く発生したため、全ての災害に着手することが不可能となり、目標値の着工率100%を達成することができなかった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	林業施設災害復旧事業					262,100	260,000	0.3				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						262,100	260,000	0.3				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 林業施設災害復旧事業

## ◇事業目的・事業対象

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

## ◇事業の概要

### ①国庫補助 災害復旧事業

国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。

### ②市単独 災害復旧事業

市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律 等	-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	438,796	260,000	260,000	565,000	260,000
	決算	334,256	196,004	167,494	311,421	
	国・県支出	93,179	42,803	19,240	83,205	104,000
	市債	21,000	5,100	5,200	20,400	44,000
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	220,077	148,101	143,054	207,816	112,000
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		700	2,800	2,100	2,100	2,100
人工	正規	0.1	0.4	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

## ◇SDGsとの関連

### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

### ・事業とゴールの関連性

異常な自然現象によって受けた被害を復旧することは、持続可能な森林経営等につながる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
災害復旧工事の着工率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100	100	100	100	100	100	100	
実績値	100	100	100	99				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ①国庫補助 災害復旧事業【決算:107,337千円(うち前年度繰越:2,846千円)】  
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。
- ②市単独 災害復旧事業【決算:204,084千円】  
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

平成30年度は国庫補助災害は14路線(14箇所)、単独災害は259路線(638箇所)と非常に多く発生したため、一部の災害で工事着工できなく繰り越しとなった。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・災害発生後、早期に対応したことにより発生した災害は可能な限り着工することができた。
- ・常日頃からのパトロールや維持管理により、国庫補助災害の対象となるような災害を未然に防ぐことができた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

災害が発生した場合には、市民生活や林業経営の維持のため、早期着手・早期完了を目指していく。